



1年	98名	3学級
2年	107名	3学級
3年	91名	3学級
4組	1名	1学級
5組	2名	1学級
合計	299名	11学級

「若い力」 — 運動会を終えて —

校長 青野 保

校庭の隅でひっそりと咲いている朝顔がありました。「季節外れ？」と思いながらも力強く上を向く姿に、この花にとっては「今が盛り」なのだ、それぞれに最適な時期があることを再認識しました。

10月20日、令和3年度第38回運動会を実施しました。9月実施予定の時期を変更し規模も縮小しての実施でしたが、澄み切った青空の下、生徒達は全力を出し大きな成果を上げることができました。

「若い力」という歌があります。昭和22年に作られ第2回国民体育大会からずっと大会歌として親しまれている歌ですが、私の心の応援歌でもあります。特に、2番の歌詞「情け身にしむ 熱こそ命」の部分に励まされます。若い者（年齢的であれ精神的であれ）には熱がなければならぬ、そして人情を感じ取り感謝しなければならぬと叱咤激励されている気持ちになります。

他クラスに負けまいと全力で走り精いっぱい応援する全員リレー、下級生に誇れる演技にふさわしい一糸乱れの無い3年生のダンスと集団行動、互いに安全を思いやりながら重いテントを立ち上げる委員会での準備…。競技に限らず準備なども含めた運動会を通して、本校生徒の姿にそのような「熱」と「情け」をたくさん見取ることができました。

生徒会組織や学級組織も後期に移行しました。3年生の修学旅行、1年生のスキー林間学校、学年ごとの合唱コンクール（祭）、3年生の進路選択など、やるべきことが控え、そして増々人と人との関わりが重要になる時期を迎えます。運動会での経験をいかし、常に夢に向かって「若い力」を発揮して行ってほしいと期待します。



「実施できて、本当によかった…」 — カッター林間学校を終えて —

教頭 矢野 天洋

10月9日（土）から3日間、2学年のカッター林間学校の引率責任者として群馬県榛名湖に行ってきました。3日間、大きな怪我や事故もなく、無事終了することができました。

2学年の生徒にとっては、コロナ禍の毎日で「待ちに待った」林間学校であったと思います。「実施できて、本当に良かった…。」（最終日、帰校後の閉校式での私のはじめの言葉です。）

カッター林間で見られた生徒の良い面を3つ紹介します。

- ① 実行委員の意識が非常に高い…自分たちの生活環境を自分たちで良くしようとする意識が高く、それを広げるために、自ら率先垂範し実行していた。
- ② 登山やカッター体験などは、全員が参加できた…途中で投げ出してしまう者が出なかった。
- ③ 全員でやろうとする意識が高い…キャンプファイヤーでのフォークダンスや各学級の発表では、皆が楽しんで参加しており、見学者も盛り上げていた。

日々の学校生活の取組が、林間学校での良さとなって現れたものと確信します。学校の主体は、既に2学年に移っています。来年度に向け、今後の学年の更なるレベルアップに期待します。

末筆ながら、本林間学校に対し、御理解・御協力をいただきました保護者の皆様、行政・旅行会社の皆様、転出者を含む学年職員に感謝申し上げ、林間学校を終えての感想とさせていただきます。